

① ハザードマップの有効活用について

近年、過去には起こらなかったような大きな災害がありうる時代となってきている。

本町においても40年前の長崎大水害で、1時間最大雨量でわが国観測史上第1位の驚異的降水量を記録し、町内全域で甚大な被害が発生した。

これまでの自然災害の教訓を忘れることなく、常に身近に起こりうる災害と考え準備しておく必要があると考える。

一人ひとりが常に安全意識を持ち、自身で出来るかぎりの対策法と知識をつけておくだけでも、安全の確立はあがると考える。

そこでハザードマップの有効活用について以下の質問をする。

- (1) ハザードマップの更新頻度はどれくらいと考えているか。
- (2) 現在のハザードマップは危険区域等が最新となっているか。
- (3) ハザードマップの活用法について町民への講座等の考えはないか。

② 公園の維持管理について

現在、本町には都市公園（街区公園・近隣公園・地区公園）70カ所と、その他の公園が30カ所あると聞く。

公園の利用対象者は幼児から高齢者まで幅広い年齢層である。

人体への影響に配慮し、除草剤の使用は自粛しており、安全で人にやさしい公園を提供し続けるためにも、公園の土壌環境の保全を維持する必要がある。

除草作業については年2回実施されているが、雑草は年間を通して季節に関係なく次から次へと生えるため、公園の数が多いため現状、対応しきれないと感じている。

町としても、除草作業を委託業者へ丸投げするのではなく、定期的に現地を確認し、その上で除草作業の軽減や公園利用に役立てられる方策を検討すべきと考える。

そこで以下について質問する。

- (1) 公園への作業車の乗入れ可否の規定はあるのか。また、乗り入れできない公園はどのくらいあるか。
＜例＞南陽台 なかよし公園・ひまわり公園
吉無田郷 帯田平公園
- (2) 公園入口に設置してあるU型バリカーが公園によって固定式と取り外し式の異なるものが設置されているが理由を伺う。
＜例＞斎藤 たるつ公園
南陽台 なかよし公園・ひまわり公園
- (3) 公園入口に固定式フェンスが設置しているが開閉式に変更できないか。
＜例＞三彩 氷取西公園